

野川台自治会 あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会
 発行者：野川台自治会長
 川崎市宮前区野川
 TEL.
 編集：あいさつ・防犯運動事務局

完成！ あいさつの輪を広げる標語とシンボルマーク 「あいさつは 心と心のキャッチボール」

こどもの声を発端に始まった「あいさつ運動」、こどもの手でつくられた「標語・シンボルマーク」、それに応え自治会は、家庭と地域に貼る標語シールを作成 —学校とこどもと地域の共同作品—

あいさつ運動の取り組み

西野川小学校教諭 多田 篤史

○みんなであいさつ運動の標語をつくろう！

一昨年の学校教育推進会議での児童の提案がきっかけで始まったあいさつ運動。今年度は、全学年が順番で毎週火曜日に校門に立ち、地域の方々と一緒にあいさつ運動を行ってきました。そして昨年の7月の学校教育推進会議で、あいさつ運動を今以上に盛り上げるためにどうしたらいいか話し合い、あいさつの標語を作ることになりました。

○あいさつは心と心のキャッチボール

学習の時間を使って、各クラスであいさつ運動を盛り上げるための標語づくりをしました。クラスで選ばれた標語は、それぞれのクラスの教室や廊下、階段、昇降口、職員玄関などに掲示して、児童の目にいつでも入るようにしています。その標語のひとつ「あいさつは心と心のキャッチボール」がシールやステッカーになって家庭や地域に貼られています。児童からは、「近所の人にあいさつをするのが恥ずかしくなくなった」、「大きい声であいさつができるようになった」という声を聞くようになりました。「心と心のキャッチボール」が学校でも、地域でも盛んに行われて、あいさつの輪がますます広がっていくといいなと思っています。



ポスト



玄関



朝のあいさつ運動

あいさつから学んだこと

野川中学校 生徒指導担当 中川 薫

○毎朝の「あいさつ運動」

昨年4月から、毎朝、校長をはじめ数人の先生が登校する生徒に「おはよう！」と声をかけています。また全学級の生徒も1週間ずつ担当しています。さらには定期的に主任児童委員、民生委員、そして自治会・町内会の方も参加し、生徒は地域の人に愛され、期待されていることをそれなりに感じていると思います。

○あいさつで感じたこと、学んだこと

生徒指導を担当して1年、毎朝300人から400人もの生徒とあいさつを交わし、色々なことを感じています。ひとつには、自ら率先してあいさつをする生徒が増え、学校生活の様々な場面で、活発な活動につながっています。二つには、今まで接点のなかった生徒とも自然に話ができるようになったこと及び生徒達を元気づけようと大きい声で話かけているものの、生徒から笑顔のあいさつをもらい、逆に自分が元気づけられています。三つには、隣接する西野川小学校児童のあいさつには、自然と顔がほころび、小・中学校のあいさつ運動の一体感を感じています。この1年、あいさつは人と人との繋がりに欠かせないものだ改めて教えられました。「あいさつ運動のシール」を機にさらに学校と地域が一緒に取り組んでいければと思います。